

いと そのものは 大きい袂をのけて つう と立った 顔があこうて 目の縁しろうて ソニドリの色 の 瑠璃色の長い首で けん と鳴いた

媛は こなたは誰か と問うた そのものは 媛から先に答えよ そのあとわれが答える と言う それで

媛は先に答えて 田には稲穂 池にはヌナハが繁り 瓜が這う金屋のサクヤヒメという という 次には そのものが答えて われは飛ぶ鳥の明日香から来たキギシなり といいい両手を広げて舞い 語った

飛ぶ鳥の明日香の御園の藪原に 蒲穂の枯れ茎 ヘシと折り 葦の枯れ茎 ヘシと折り 敷き敷きて そこにももとせちとせ遊び暮らした 如月の露の降る夜が明けたとき 田夫が鎌持って田を作り 田夫が鍬持って田を作り われは追われて羽ばたいて 怒りて顔があこうなり 甘檜

を越え 香具山を越え 皆と離ればなれで 泣きに泣いて目の縁しろうなつた

キギシは いままでは キジという顔があこうて 目の縁が白いのはそんなわけや

キギシは われはももとせちとせ生きて あやかしきこと めでたきことなどおおくきき おおくみた 媛

はわれの物語を聞くか と問うた サクヤヒメは キギシのももとせちとせの物語を聞く なにをはじめに語るか と問うと 空が隠れた話と偽りが隠れた話と どれがよいかと問う 媛は答えて 空が隠れた話という と キギシは 媛の右手のハカの枝を採って でははじめに香具山を語ろう という 香具山は元

はあもりつく香具山 といいいまは天香具山 ともいいう



解説 言葉の意味、読みなど

- 1 こをろこをろ...を をしつかり発音してください。
古事記の天地の初めの段で、天の浮き橋から潮を茅でかき回したときの擬音。
- 2 いぶかし...不審だな
- 3 ハハカ...ウワミスザクラの古語
- 4 おみの...あなたの
- 5 ソニドリ...翡翠の古語
- 6 ヌナハ...ジュンサイの古語
- 7 ももとせ...百年
- 8 ちとせ...千年
- 9 あもりつく...天から降ってきた、という意味

挿絵：風間 比呂子